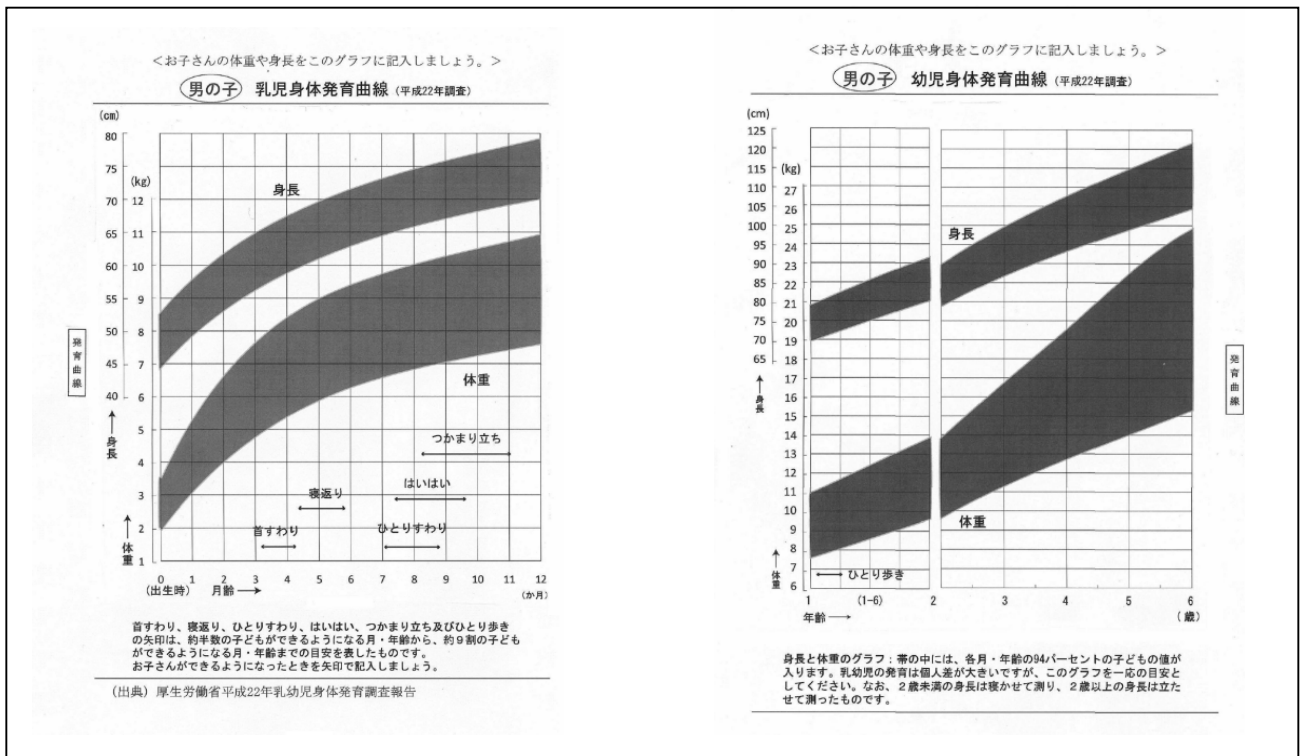


調査結果の活用の例

身体発育曲線の作成

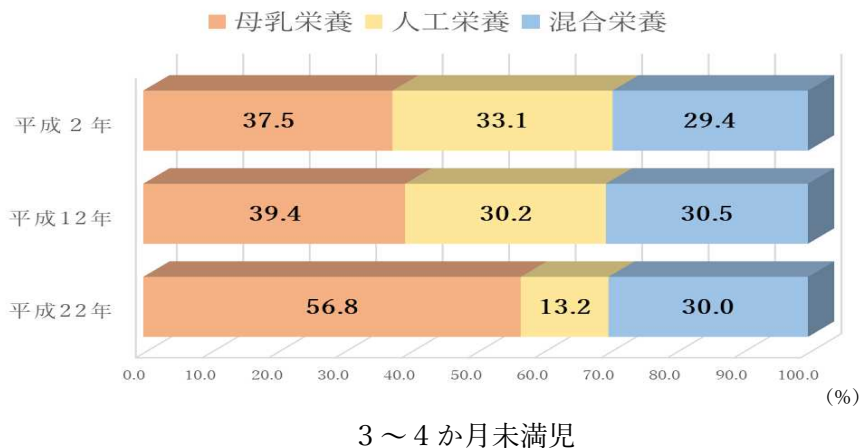
◇ 母子健康手帳の身体発育曲線を作成するために活用されます。



過去の調査結果

【授乳期の栄養方法の推移】

◇ 平成22年においては、平成12年に比べ人工栄養の割合が減少しており、また、母乳栄養については、月齢が進んでもその割合が高くなっている。



本調査について、こども家庭庁のホームページ (URL 及び QR) でご覧になれます。

<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/r5-nyuuyoujityousa/>

